

別添

1. 構造名

パルプ混入スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 寸法

軒の出は 110 mm～2,000 mmとし、軒の幅は構造計算等により構造安定性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

項 目		製 品 仕 様
主 構 成 材 料	軒天材	材 料：①～③のいずれか一仕様とする ①パルプ混入スラグせっこう板：NM-5893(2) ②スラグせっこう板：NM-8314 ③化粧スラグせっこう板：NM-8315 厚さ(mm)：8-0.8以上 密度(g/cm³)：1.10-0.1以上 表面形状：①～③のいずれか一仕様又は併用とする ①平滑 ②エンボス(ただし、最小厚さ8-0.8mmを確保) ③溝加工(ただし、最小厚さ8-0.8mmを確保) 目地形状：①～⑤のいずれか一仕様又は併用とする ①面取突付け目地 ②突付け目地 ③面取合じゃくり目地 ④合じゃくり目地 ⑤金属ジョイナー目地 表面仕上：①～⑨のいずれか一仕様又は併用とする ①アクリルウレタン系樹脂塗装 ②アクリル系樹脂塗装 ③ウレタン系樹脂塗装 ④エポキシ系樹脂塗装 ⑤アクリルシリコン系樹脂塗装 ⑥フッ素系樹脂塗装 ⑦無機質系塗装 ⑧塩化ビニル系化粧シート ⑨なし ①～⑧の有機質固形分量(g/m²)：100±10以下
	野縁、中間野縁	材 料：①、②のいずれか一仕様又は併用とする ①日本農林規格の品質を満足する木材(製材、桝組壁工法構造用製材、集成材、桝組壁工法構造用たて継ぎ材、単板積層材) ②平成12年建設省告示第1452号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 断面寸法(mm)：30±3.0×40±4.0以上 取付間隔(mm)：軒元及び軒先(軒の出方向500以下) 軒の出500を越える場合は中間野縁取付

項 目		製 品 仕 様
主 構 成 材 料	縦野縁	材 料：①、②のいずれか一仕様又は併用とする ①日本農林規格の品質を満足する木材（製材、桝組壁工法構造用製材、集成材、桝組壁工法構造用たて継ぎ材、単板積層材） ②平成 12 年建設省告示第 1452 号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 断面寸法(mm)：30±3.0×40±4.0 以上 取付間隔(mm)：軒の幅方向 455 以下 (軒天材目地部は二本組又は、二本組と同寸法以上)
	吊り木	材 料：①、②のいずれか一仕様とする ①なし（軒の出 500 mm 以下の場合） ②日本農林規格の品質を満足する木材（製材、桝組壁工法構造用製材、集成材、桝組壁工法構造用たて継ぎ材、単板積層材）又は、平成 12 年建設省告示第 1452 号の第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材 断面寸法(mm)：30±3.0×30±3.0 以上 取付間隔(mm)：軒の幅方向 910 以下、軒の出方向 野縁間隔と同じ
副 構 成 材 料	金属ジョイナー	種 類：①～③のいずれか一仕様又は併用とする ①なし ②金属ジョイナー（H 型） ③金属ジョイナー（T 型） 材 質：①～②の一仕様又は併用とする ①ステンレス鋼製 ②鋼製
	留付け材	軒天材固定用： 材 料：①～③のいずれか一仕様又は併用とする ①両面テープ（仕上げ釘併用） 材質：特殊アクリル系粘着剤（発泡ポリマー支持体） 寸法(mm)：幅 20±2 以下 ②接着剤（仕上げ釘併用） 材質：変成シリコン系樹脂 留付間隔：野縁塗布 塗布量(g/m)：30±3 以下 ③シーリング材（仕上げ釘併用） 材質：変成シリコン系樹脂 留付間隔：野縁塗布 塗布量(g/m)：30±3 以下 仕上げ釘 材質：a) ステンレス鋼製 b) 軟鋼線材 寸法(mm)：(1)、(2) のいずれか一仕様又は併用とする (1) 胴部径 1.05×長さφ35 以上 留付本数：1 箇所につき 2 本留付 (2) 胴部径 1.05×長さφ50 以上 留付本数：1 箇所につき 1 本留付

つづく

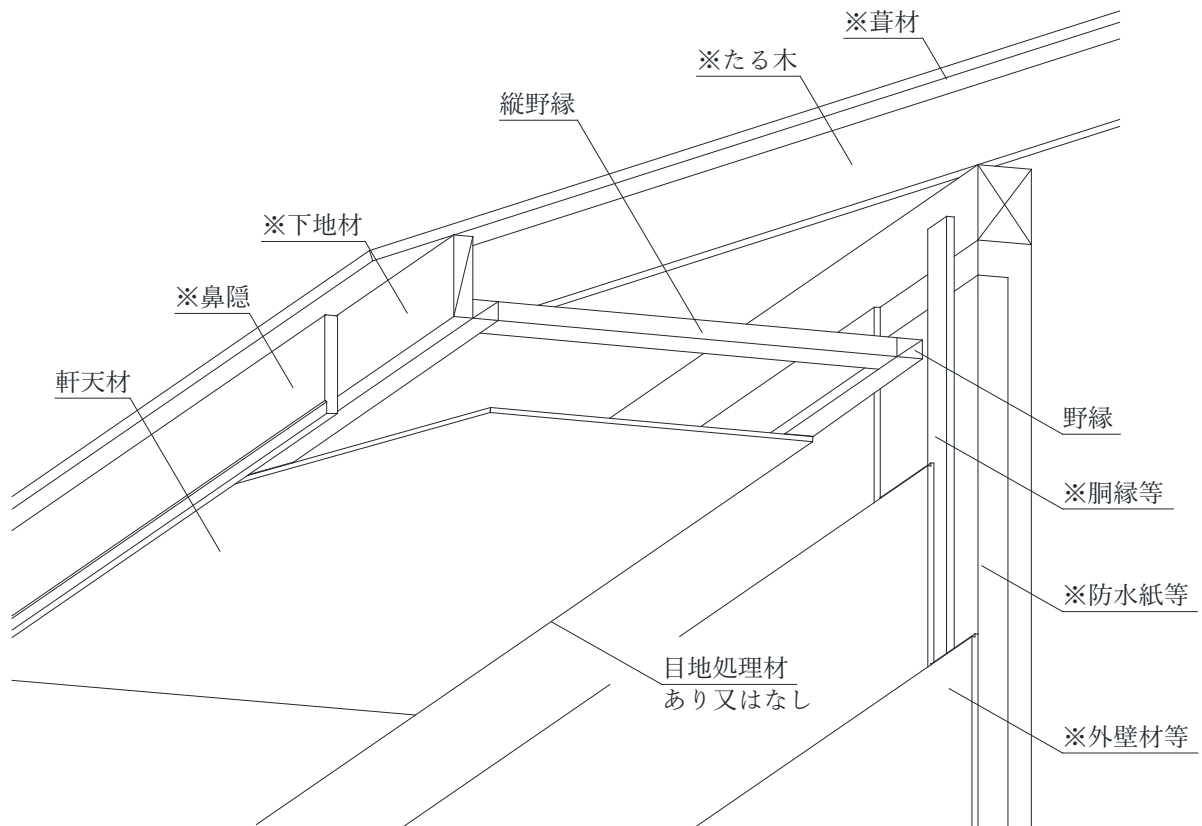
つづき

項 目		製 品 仕 様
副 構 成 材 料	留付材	留付間隔(mm)：寸法 (1) の場合 軒の幅方向 145 以下、軒の出方向 226 以下 寸法 (2) の場合 軒の幅方向 90 以下、軒の出方向 226 以下
		野縁固定用 材 料：①、②のいずれか一仕様又は併用とする ①くぎ 材質：a) ステンレス鋼製 b) 鋼製 寸法(mm)：胴部径φ2.75×長さφ50 以上 ②ねじ 寸法(mm)：呼び径φ3.0×長さφ50 以上 留付間隔(mm)：軒の幅方向 455 以下
		縦野縁固定用 寸法(mm)：胴部径φ3.05×長さφ65以上 材料、材質、寸法、留付間隔：野縁固定用留付材と同じ
		吊り木固定用（軒の出が 500 mmを越える場合） 材料、材質、寸法：野縁固定用留付材と同じ 留付間隔(mm)：910 以下
	目地処理材	軒天材目地形状①～⑤及び軒元、軒先の取合い部の処理 (1)、(2) のいずれか一仕様又は併用とする (1) なし (2) シーリング材 種類：1) ～4) のいずれか一仕様又は併用とする 1) アクリル系 2) ウレタン系 3) シリコン系 4) ポリサルファイト系

4. 構造説明図

(1) 透視図

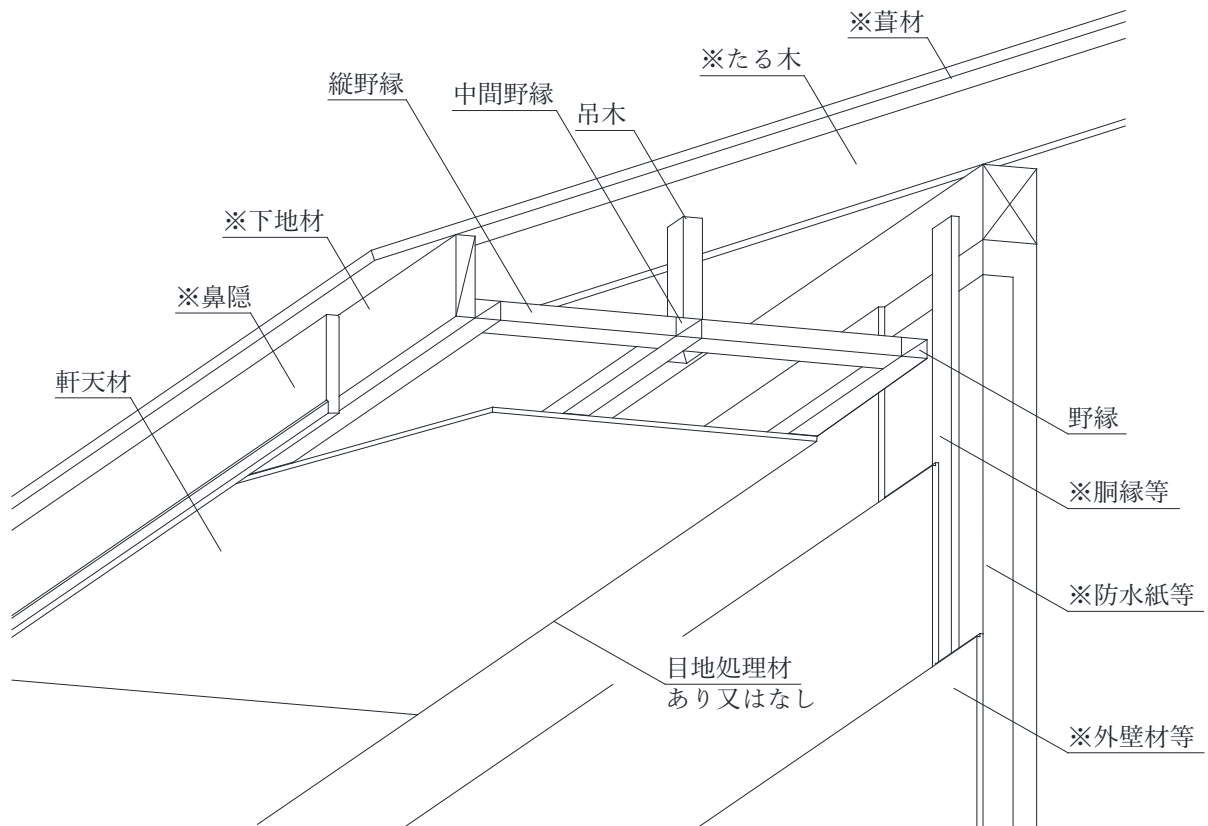
(寸法単位：mm)



軒の出=110 を越え 500 以下の場合 (水平軒仕様)

※評価対象外

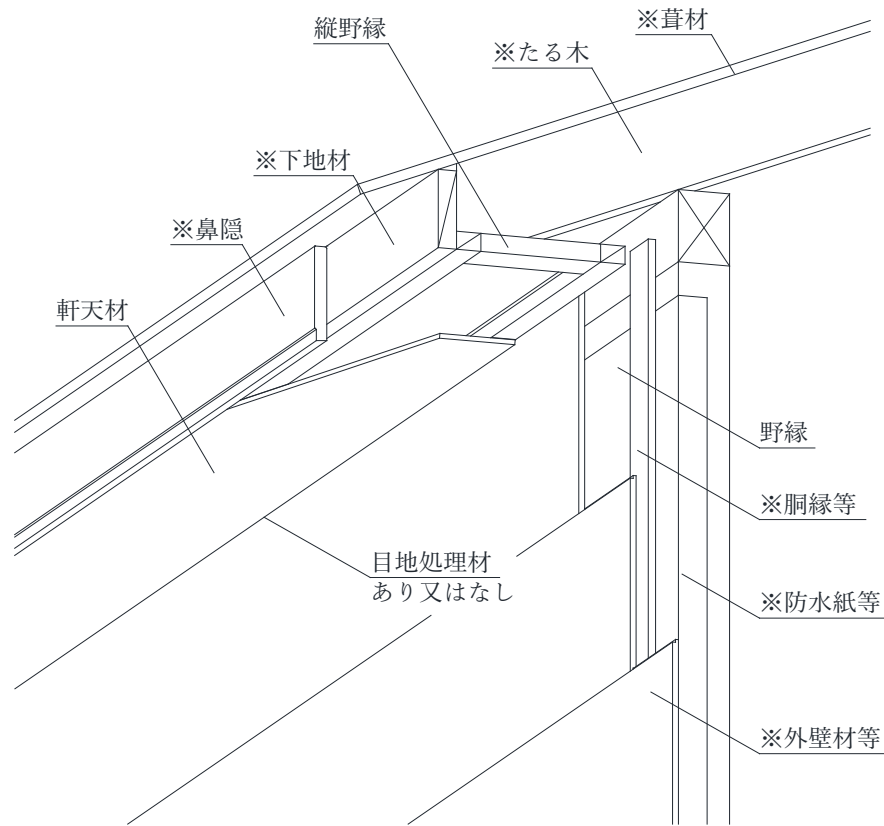
(寸法単位：mm)



軒の出=500 を越え 2,000 以下の場合(水平軒仕様)

※評価対象外

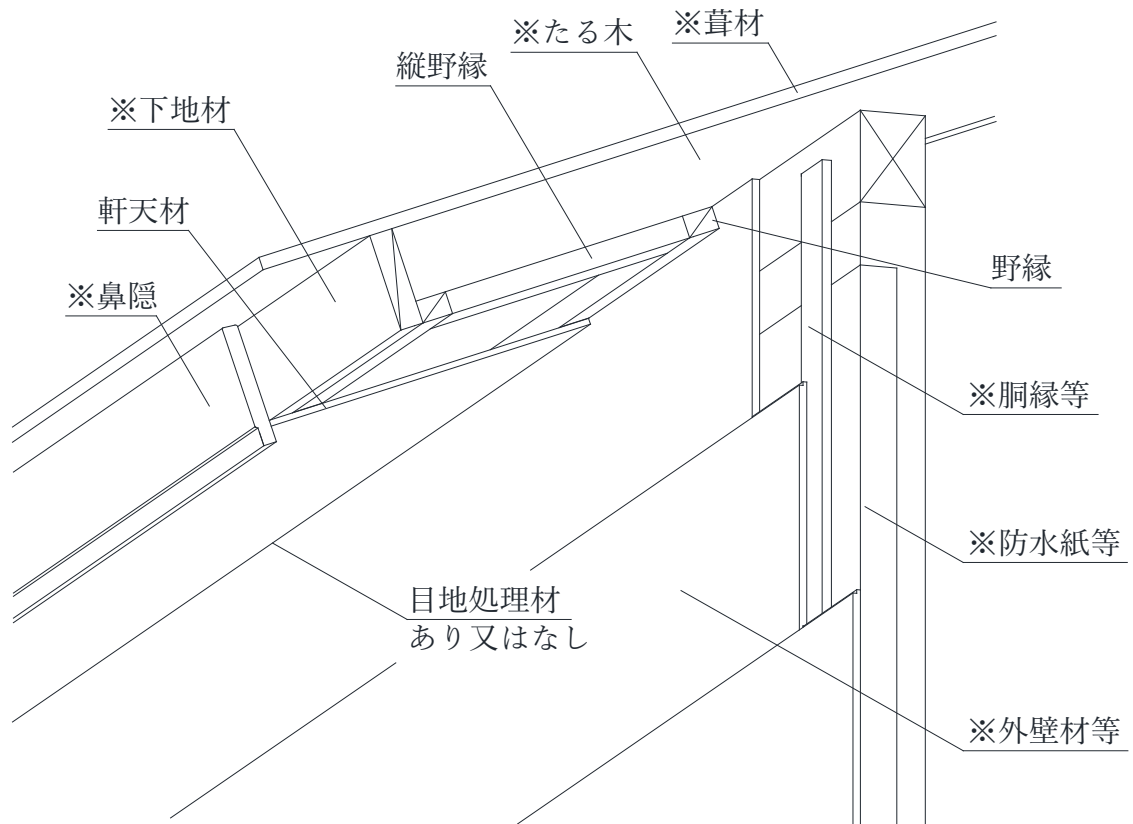
(寸法単位：mm)



軒の出=110 の場合 (水平軒仕様)

※評価対象外

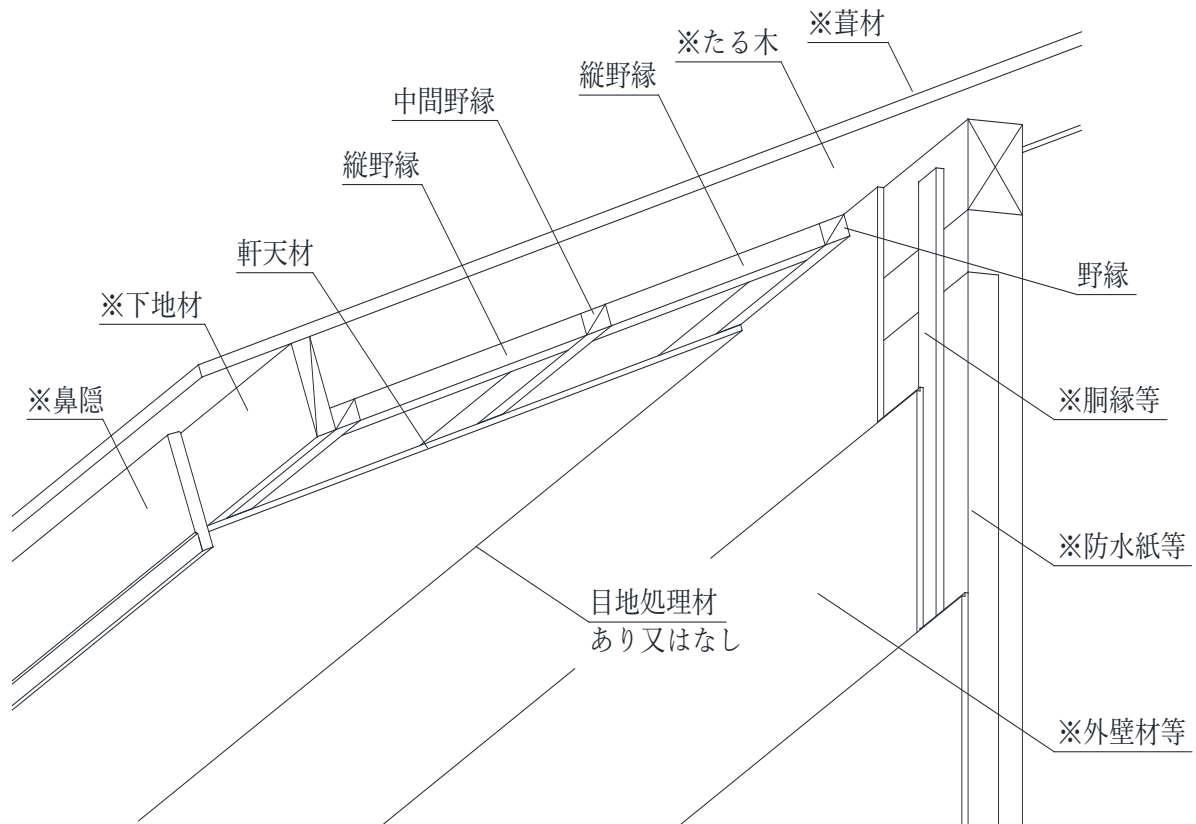
(寸法単位：mm)



軒の出=110 を越え 500 以下の場合 (勾配軒仕様)

※評価対象外

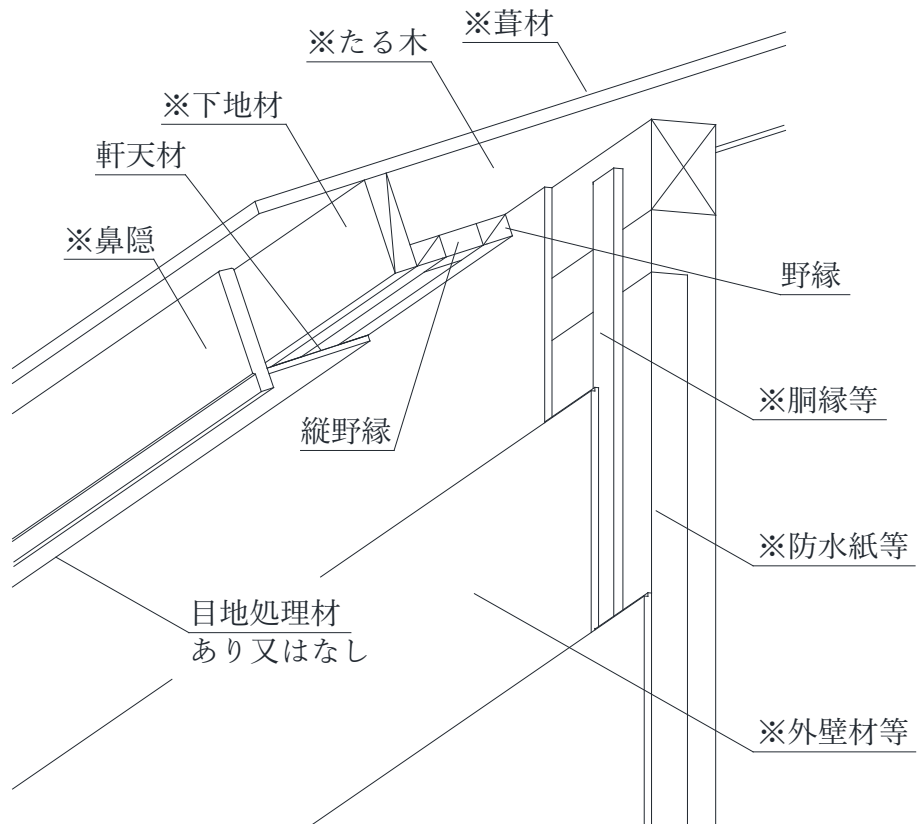
(寸法単位：mm)



軒の出=500 を越え 2,000 以下の場合 (勾配軒仕様)

※評価対象外

(寸法単位：mm)

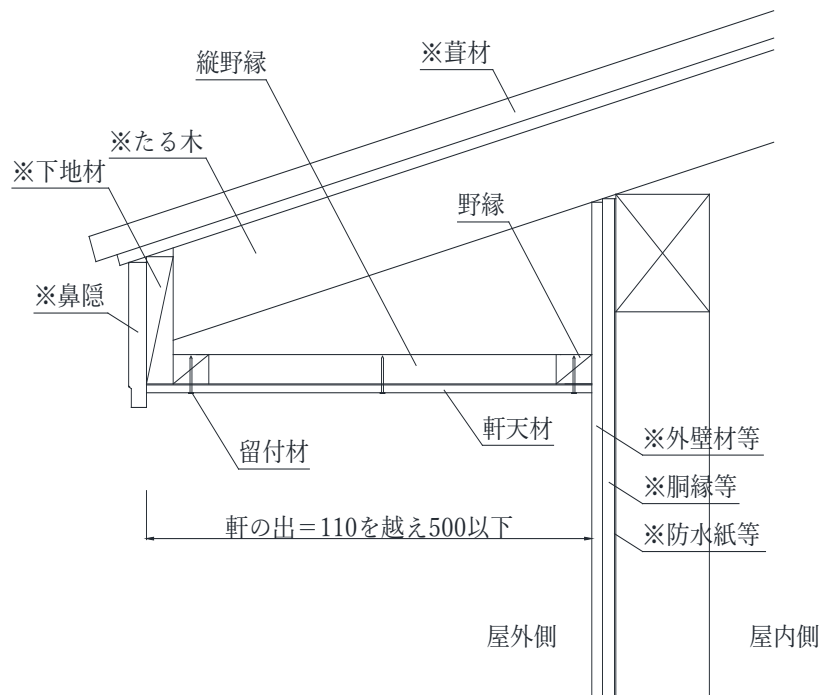


軒の出=110 の場合 (勾配軒仕様)

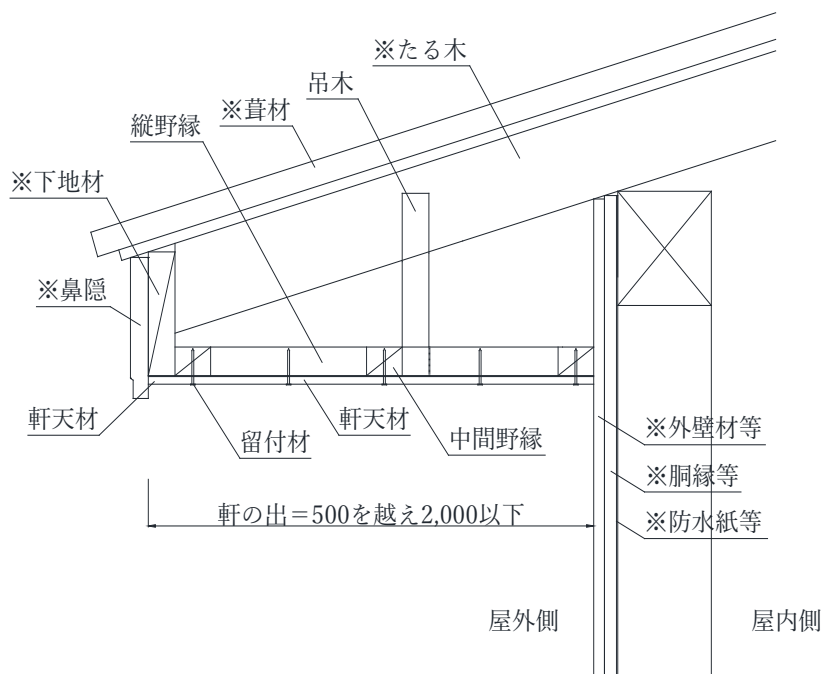
※評価対象外

(寸法単位：mm)

(2) 鉛直断面図



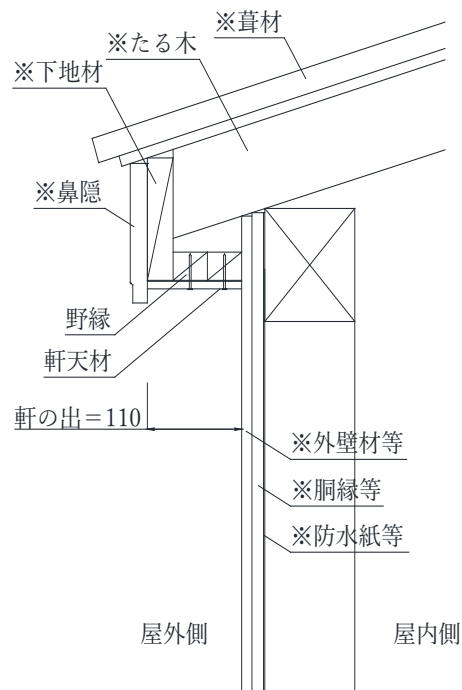
軒の出=110 を越え 500 以下の場合(水平軒仕様)



軒の出=500 を越え 2,000 以下の場合(水平軒仕様)

※評価対象外

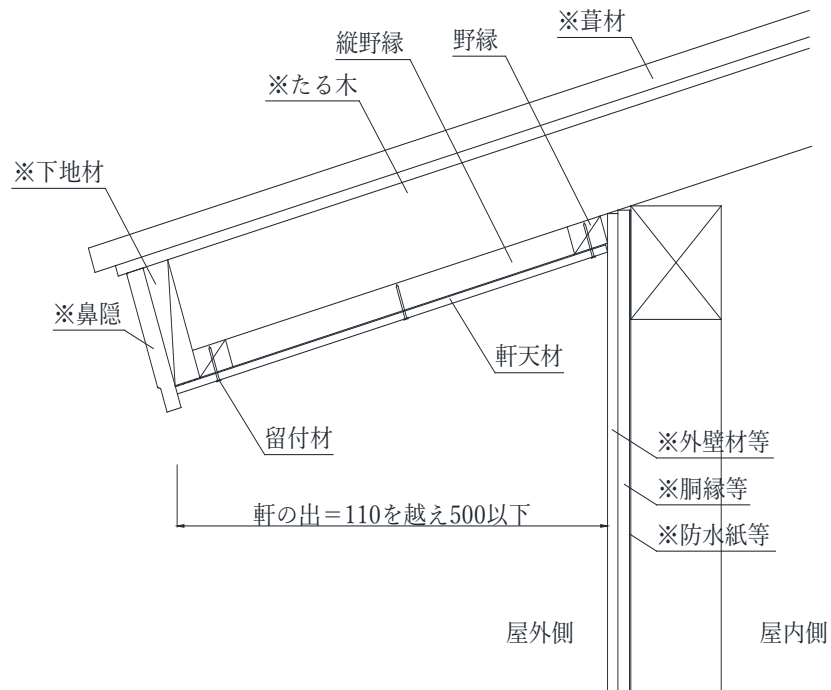
(寸法単位：mm)



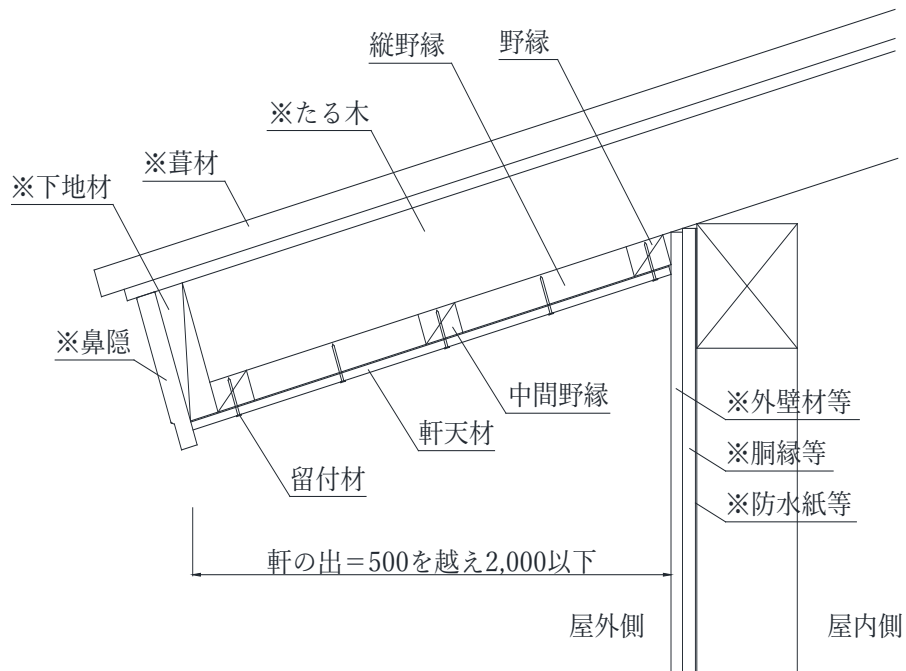
軒の出=110 の場合(水平軒仕様)

※評価対象外

(寸法単位：mm)



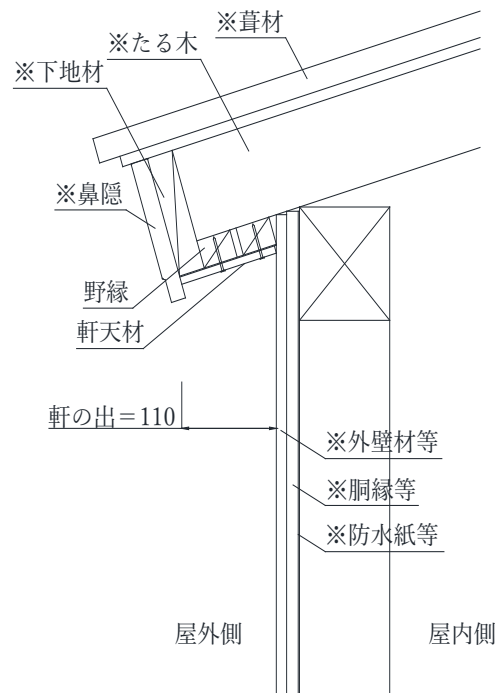
軒の出=110 を越え 500 以下の場合(勾配軒仕様)



軒の出=500 を越え 2,000 以下の場合(勾配軒仕様)

※評価対象外

(寸法単位：mm)

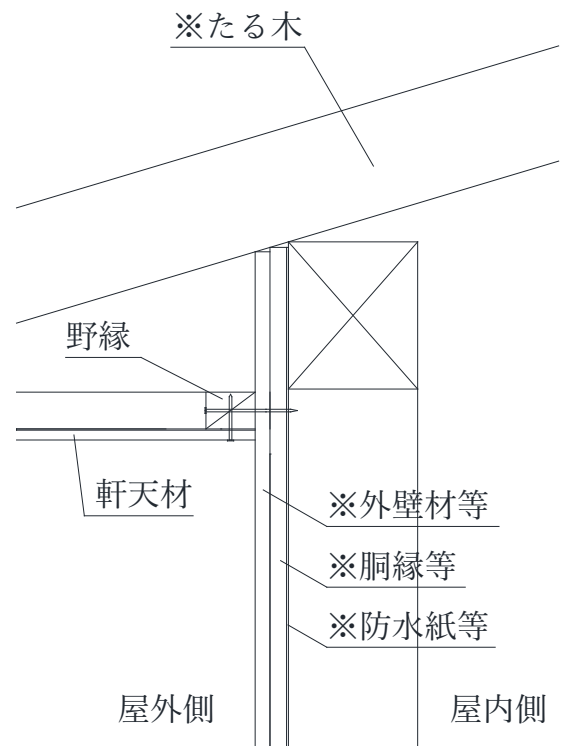
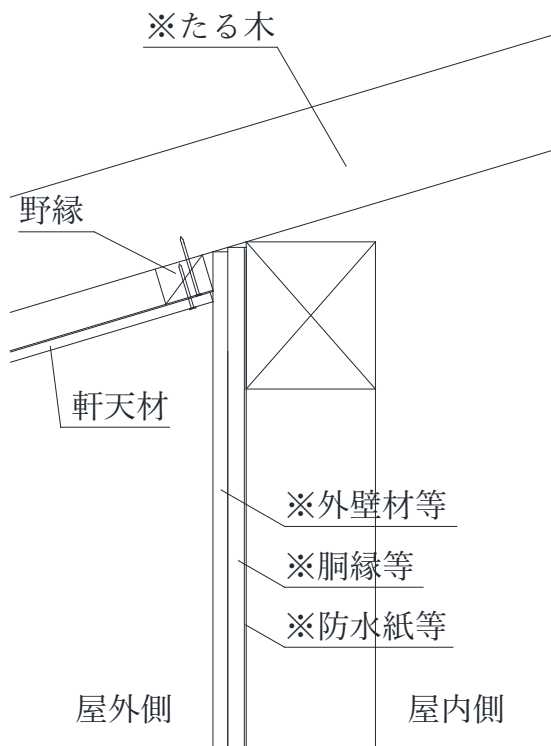


軒の出=110 の場合(勾配軒仕様)

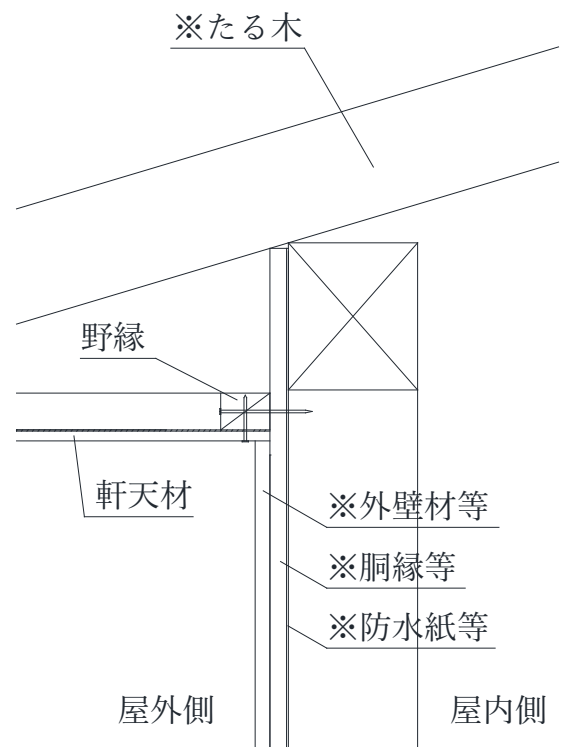
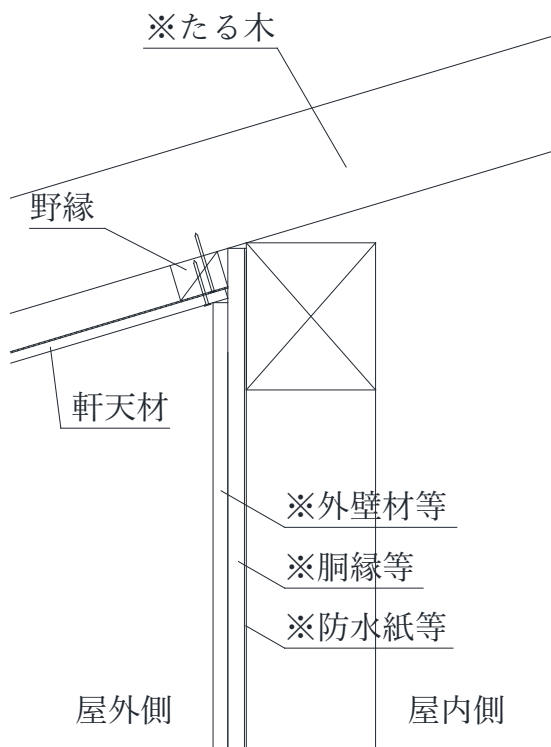
※評価対象外

(寸法単位：mm)

(3) 壁との取り合い部



軒元壁勝仕様



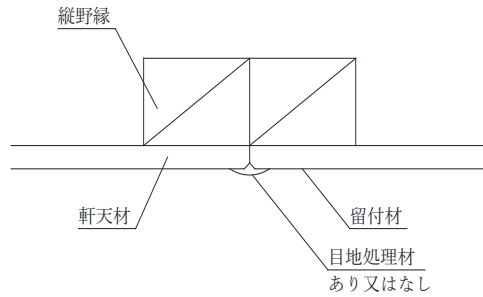
軒元野縁勝仕様

※評価対象外

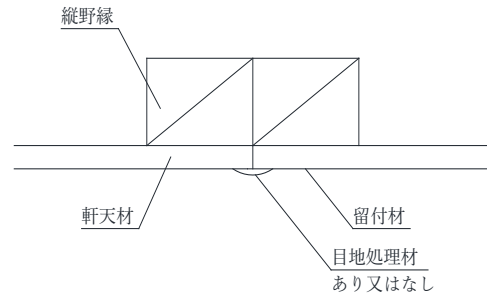
(寸法単位：mm)

(4) 目地部詳細図

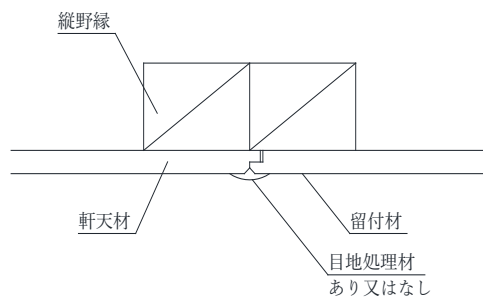
① 面取突付け目地



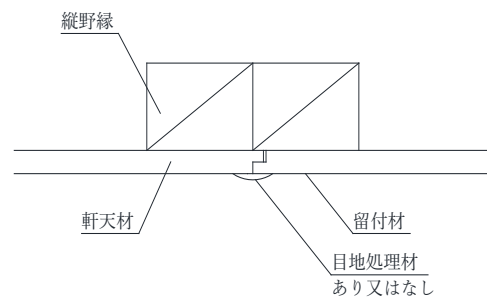
② 突付け目地



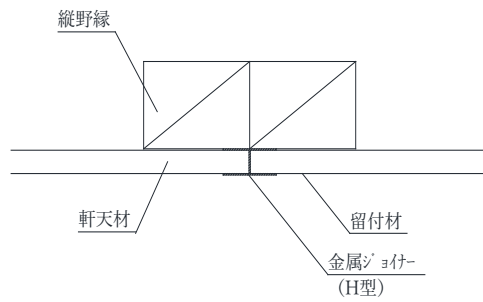
③ 面取合いじゃくり目地



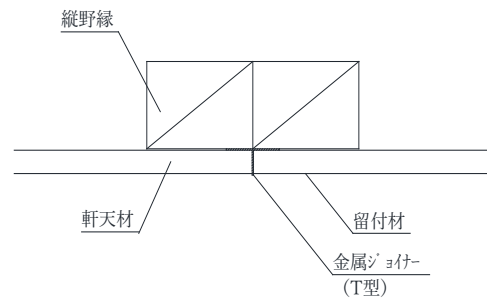
④ 合いじゃくり目地



⑤ H型ジョイナー目地



⑥ T型ジョイナー目地



(寸法単位：mm)

(5) 軒天表面詳細図



5. 施工方法

<施工図>

5. 構造説明図と同じ

<施工手順>

(1) 下地材の取付け

下地材は、たる木に固定する。

(2) 野縁の取付け(軒の幅方向)

野縁は、下地材、たる木、壁躯体等に野縁固定用留付材を用いて固定する。

(3) 縦野縁の取付け(軒の出方向)

縦野縁は、野縁または垂木等に縦野縁固定用留付材で固定する。

軒の出が 500 mm を超える場合は、吊木にて補強する。また、縦野縁を直接たる木に取り付ける場合は、吊木を省略することができる。

(4) 軒天材の取付け

軒天材は、野縁、縦野縁等に軒天材固定用留付材で固定する。

(5) 目地部

目地処理部は、面取り突付け目地、突付け目地、面取り合いじゃくり目地、合じゃくり目地又は、金属ジョイナー目地とする。

(6) 必要に応じて、仕上げ塗装を行う。

※留意事項

・ 保管に関する事項

保管の際は、水や湿気を避け平らな場所に積み重ねる。

・ 運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直に持ち、特に角部に衝撃を与えたり、面に傷を付けないように注意する。

・ 各留付け材に関する事項

本構造に使用される各留付け材は、構造説明図に記載される所定の留付け先に十分なかかり代が確保されるよう、留付けている材料の寸法に応じた適切な長さで使用する。

・ 仕様に関する事項

本仕様を施工するにあたっては、本仕様と外壁および軒裏屋根等の取合い部分において炎の侵入を有効に防止することができる構造とする。